

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義		
科 目 名	失語症Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)		
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	702		
担 当 教 員	前田 直樹						
実務経験と その関連資格	言語聴覚士として急性期病院で脳血管疾患リハビリに5年勤務。現在も臨床業務を継続している。 年間100症例以上の脳血管疾患患者を担当しており、そのうち失語症例も数多く経験している。 SCU(脳卒中集中治療室)におけるリハビリにも従事し、失語症例を発症直後から評価している。						
《授業科目における学習内容》							
言語に関わる脳の構造や機能、失語症患者の言語症状を理解した上で失語症のタイプ分類を学ぶ。また失語症検査についても実際の検査道具を使用してロールプレイを実施していく。							
《成績評価の方法と基準》							
定期試験100%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
標準言語聴覚障害学 失語症第3版 医学書院 失語症の言語治療の基礎 診断法から治療理論まで 紺野加奈江 著 診断と治療社							
《授業外における学習方法》							
授業中に学んだ内容について教科書やレジュメを読み返し復習をして理解するようにしてください。							
《履修に当たっての留意点》							
失語症Ⅰで学んだ内容を基礎として、タイプ分類や失語症行群の特徴について整理して理解するようにしてください。							
授業の 方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症言語治療の基礎「古典的分類」、失語症学「ブローカ失語」			
	各コマに おける 授業予定	古典的分類について、ブローカ失語					
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ			(復習)失語症学「ウェルニッケ失語」	
	各コマに おける 授業予定	ウェルニッケ失語					
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ				
	各コマに おける 授業予定	伝導失語					
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「健忘失語」			
	各コマに おける 授業予定	健忘失語					
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ			(復習)失語症学「超皮質性運動失語、超皮質性感覚失語」	
	各コマに おける 授業予定	超皮質性失語①					

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「語義失語、超皮質性混合性失語、全失語」
	各コマにおける授業予定	超皮質性失語②、全失語		
第7回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「交叉性失語、皮質下性失語」
	各コマにおける授業予定	交叉性失語、皮質下性失語		
第8回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「純粋語聾、発語失行、純粋失読」
	各コマにおける授業予定	純粋型①		
第9回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「純粋失書、失読失書、失語に伴う失読・失書」
	各コマにおける授業予定	純粋型②		
第10回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「原発性進行性失語」
	各コマにおける授業予定	原発性進行性失語		
第11回	授業を通じての到達目標	言語症状や随伴しやすい障害を理解し、説明することができる	教科書、レジュメ	(復習)失語症学「後天性小児失語症」
	各コマにおける授業予定	後天性小児失語症		
第12回	授業を通じての到達目標	標準失語症検査について概要を理解し、手順や採点方法・結果のまとめ方を修得し、模擬患者に実施することができる	標準失語症検査道具、マニュアル	(復習)失語症言語治療の基礎「鑑別診断、掘り下げ検査」、失語症学「鑑別診断検査、特定検査」
	各コマにおける授業予定	失語症検査①		
第13回	授業を通じての到達目標	標準失語症検査について概要を理解し、手順や採点方法・結果のまとめ方を修得し、模擬患者に実施することができる	標準失語症検査道具、マニュアル	(復習)失語症言語治療の基礎「鑑別診断、掘り下げ検査」、失語症学「鑑別診断検査、特定検査」
	各コマにおける授業予定	失語症検査②		
第14回	授業を通じての到達目標	標準失語症検査について概要を理解し、手順や採点方法・結果のまとめ方を修得し、模擬患者に実施することができる	標準失語症検査道具、マニュアル	(復習)失語症言語治療の基礎「鑑別診断、掘り下げ検査」、失語症学「鑑別診断検査、特定検査」
	各コマにおける授業予定	失語症検査③		
第15回	授業を通じての到達目標	標準失語症検査について概要を理解し、手順や採点方法・結果のまとめ方を修得し、模擬患者に実施することができる	標準失語症検査道具、マニュアル	(復習)失語症言語治療の基礎「鑑別診断、掘り下げ検査」、失語症学「鑑別診断検査、特定検査」
	各コマにおける授業予定	失語症検査④		